

平成28年1月15日

平成28年度東京都予算原案の発表にあたって（談話）

東京都議会自由民主党幹事長 宇田川 聡史

本日、平成28年度東京都予算原案が発表されました。

我が党の政策の実行により、景気は緩やかな回復基調が続いており、都税収入は5年連続で増加する見込みですが、元来、景変変動によるリスクを抱えるほか、不合理な偏在是正措置の拡大が見込まれるなど、予断を許さない状況です。

そうした中であって、2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会、その前年のラグビーワールドカップの成功、その先の東京の発展そして世界で一番の都市東京の実現を確かなものにしていくためには、長期ビジョンの着実な推進が不可欠です。

また、真の地方創生に向けて、国に地方税財源の充実を強く求めると同時に、日本全体の発展につながる施策を積極的に展開していくことも重要です。

こうした観点から昨年、我が党は、平成28年度予算編成への要望書を舛添知事に提出すると同時に、各局事業の内容や進捗状況を継続的に検証しながら、必要な政策提言や要望を行っていくことを知事に伝えました。

今回、知事は、平成28年度予算を「『世界一の都市』の実現に向けた取組を加速化・深化させ、力強く前進させる予算」として、発表しました。長期ビジョンが指し示す、2020年とその先の将来像の実現に向けて積極果敢な施策展開を図るとともに、計画的・戦略的な政策展開を支え得る強固で弾力的な財政基盤を構築することを基本に編成しており、こうした両面を編成の柱に据えた点は我が党の基本姿勢と軌を一にするものであります。

歳出の状況を見ると、政策的経費である一般歳出の額は、4.8%増の5兆933億円となっており、18年ぶりの5兆円台となっています。東京と日本全体の成長につながる施策を展開するため、長期ビジョンに関連する事業は100%予算化し、約1兆2,500億円が計上されるなど、重点的に予算が配分されています。

投資的経費は、オリンピック・パラリンピックに向けた施設整備や、災害に強い都市づくりやインフラ整備などを着実に進めることにより、12年連続の増で、昨年度に引き続き1兆円を超える水準となっています。

個々の施策では、オリンピック・パラリンピックの成功とその先を見据え、競技施設等の整備やリオ大会を契機とした気運醸成を図るほか、我が党が訴えてきた、バリアフリー化の推進、障害者スポーツの振興、芸術文化の推進などの取組みを多岐にわたり充実させています。

また、都民の安全・安心の確保に向け、テロ・サイバーセキュリティ対策の強化とともに、木密地域の改善・耐震化の一層の推進や豪雨対策の強化、島しょ部の津波避難施設の整備など、地域の特性を踏まえた防災対策を積極的に推進しています。

東京の経済を支える中小企業に対しては、資金繰りに万全を期すとともに、経営力向上や事業承継に向けた支援を強化するなど、経営安定化に向けた事業を充実させています。加えて、起業・創業の促進に向けた創業支援拠点を新たに設置するほか、成長産業の育成・強化を図っており、評価するものです。

また、観光産業の発展に向け、外国人旅行者の受入環境整備や多摩・島しょ地域の魅力発信を行うほか、広域観光モデルルートの拡充など真の地方創生に向けて、地方との連携を強化しています。

雇用就業対策では、非正規労働者の正規・無期雇用化を加速するほか、女性の活躍推進に向けた再就職支援などの環境整備や若年者、高齢者、障害者へのきめ細かい就業支援策など、実効性の高い事業を展開するものとなっています。

社会資本整備では、将来に向けたまちづくりグランドデザインの土台を確実に作りあげるとともに、引き続き、骨格幹線道路や首都高速道路、東京外かく環状道路、東京港の整備などに取り組むこととしています。

福祉分野では、保育や介護の人材確保に向けた取組を強化するなど、子育て環境の充実や高齢者・障害者への支援を進めるほか、医療施設の整備など医療体制の確立に向けた事業を展開しています。

このほか、不登校や中途退学対策などの学校教育の充実や、世界で活躍できる人材の育成にも力を入れ、適切に予算が計上されています。

今回の予算原案では、世界で一番の都市・東京の実現に向け、長期ビジョンに掲げる施策を着実に推進していくため、集中的・重点的な取組を図る基金を戦略的に活用する一方で、今後の人口構造の変化などを見据え、都債の発行を抑制するほか、財源として活用可能な基金の残高確保も図るなど、強固で弾力的な財政基盤の構築にも適切に対応したものになっています。

今後、予算原案の内容について、精査・検討し、都民要望が特に強い項目は復活要望を行うとともに、第一回定例会での予算審議において、積極的な提案や要望を行い、都民生活の向上と東京の発展に資する予算とするよう、責任政党として全力で取り組んでまいります。